

ベストクラス選定理由書

作成者：毎床愛美・吉川朋希・池田京子・森谷幹子・山中一英・三上孝治・古田和士・持田魁人・糟谷樹理・マーフィ藍

科目名称 視覚生理・病理（昼間クラス） (担当教員名：丹所忍)	
課程 ：大学院（修士）	開講時期 ： 前期
授業形態 ： 講義・演習	授業規模 ： 31人以上
インタビュー対象教員名：丹所忍 (実施日時：8月29日； 実施場所：Teams 上)	
インタビュー対象受講者名：奥西葵 (実施日時：8月28日； 実施場所：Teams 上)	
選定理由 <p>本科目は、受講生による高い授業評価を受けていた。また、学生が未知の分野に触れ、授業を通して知識を得て学びを深め、実践につなげようとする記述が多数見られた。それらについて担当教員にインタビューした結果、以下のような点に留意した上で授業が構成されていることを確認した。</p> <ul style="list-style-type: none">● 人柄を把握して一人ひとりを大切にし、視覚障害教育の仲間を作りたいという思い<ul style="list-style-type: none">➢ 丁寧にコメントを返す➢ 全員に活躍の場を与える➢ グループワークでフリーライダーを抱えながら頑張っている人への声掛け● 知らないこと、わからないことは自分で調べる姿勢<ul style="list-style-type: none">➢ ポスター発表の実施<ul style="list-style-type: none">◆ 責任を持って眼疾患について調べて発表してもらった。質問も出てくる中で、わからないこともあるが頑張って答えてもらった。➢ こういう視点もあるね、現場ではこうしていけば良さそうだね、という声掛け <p>上述の教員の取り組みに対し、受講生もまた以下のとおり述べており、教員の意図が明確に受講生に伝わっており、なおかつ心理的安全性の高い授業になっていたことが伺えた。</p> <ul style="list-style-type: none">● レポートのフィードバックを毎回くれた。わからないところがあつても「大丈夫ですよ」と優しく声をかけてくれた。個別対応のフィードバックだったので、モチベーションに繋がった。● フリーライダーをどう巻き込めばよいかをずっと考えていた。● 専門性が高い授業だが、「できる範囲で」と言ってくれた。● 多様な視点から考えることができた。● 「この子はこういう見え方をしているんですよ」「こういうことをしてあげるといいね」といったように、子どもの代弁をしてくれていた。 <p>以上のことから、本授業を令和7年度「ベストクラス」として選定する。</p>	